

分たちも出すお金ですから高額に決定しようという話にはなりません。法要に厳粛さも感じられずうまくいかなかったようです。僧侶から料金を決められて高額だから離れていく例もあるようです。また、外部から金銭に託つけて施主を僧侶から遠ざけ葬儀の営業をする業者も出てきているようです。いずれにしても僧侶の本義と謙虚さが求められています。

・お大師さんありがたい
このことは私が幼少の頃に

に老僧方からたびたび聞かされてきたことばです。老齢とともに実感できるような感謝の念を一段と強く持つようになりまし。

お大師さまの智慧をいただき、お大師さまに救われた私の体験実話は本誌の誌面をお借りしていろいろ話してきております。

高座に座っているのは解決は遠のくばかりです。檀家の家族との「心の繋がり」を大切にしましょう。檀家に不幸があれば、子たち孫たちも必ず実家に帰ってきます。この好

お釈迦様の蓮を咲かす冒険②

ネパール・ルンビニと ティラウラコット遺跡編

生蓮寺住職・生命科学博士・東京大学
先端科学技術研究センター連携研究員 高畑 公紀

目的

「お釈迦様の蓮を咲かす冒険」とは、お釈迦様が生きておられた時代に咲いていた蓮を再び咲かせる事を目指しています。今年の二月九日からインド祇園精舎（一週間）とネパール・ルンビニとティラウラコット遺跡（一週間）に

いざネパールへ
ここでもハブニング
インドではお釈迦様が生き

機を逃さず「霊といのち」の話をしましょう。また、連夜参りなどの際には幼少の孫たちにも同席してもらい「仏前勤行次第」を一緒に読み、子どもたちを対象にお話してあげましょう。成人してから心に留めておきます（この実話も本誌にも紹介した）。特に「十善戒」は生活の基本、人生のテキストと位置付けて活用しましょう。

お大師さま いつもありがとうございます。
南無大師 遍照金剛
（岡山県鏡野町）

ておられた時代の蓮の種は発掘できず、悔しい思いをしました。気を取り直して、陸路でネパールを目指しました。

インドチームと分かれて私一人で、国境までは四時間のタクシの旅です。もともとバスでの移動を考えていましたが、一人では重すぎて運べない発掘機材をネパールに運ぶためにタクシで移動しました。

というのはも本来はネパールでは、ルンビニを管理しているルンビニ開発トラストが発掘機材を借りる予定でした。しかし出発の前日になって発掘機材がないとの連絡を受け、

急遽インドで発掘機材を調達して使用することになりました。

無事インド側では出国手続きを済ませ、次はネパール側での入国手続です。ここでも二つのハブニングがありました。一つ目は事前の調べによるとネパールの入国手続は国境を越えてすぐに入国管理局があるとのことでしたが、入国管理局のオフィスが移動していました。なぜ移動しているかと調べれば、入国管理局の隣りにあるレストランでネパールチームと合流する予定だったからです。私はスマートフォンをデリで盗まれて通信手段がありません。そしてとても重い発掘機材を持っています。

た。柱にはQRコードが貼り付けてあります。よくよく聞くとスマフォで柱にあるQRコードを読み取ってWEB申請をしるということでした。そして私はデリでスマフォを盗まれています。ここに来てスマフォがないためにネパールに入国できないというなんとも情けない事態に直面しました。係員に「私スマフォ持っていないよ」と伝えようと、「どうして？」という反応。無いものはないのです。デリで盗まれたのです。そして誰のスマフォでもないこと。つい先程落ち合った村上僧正のスマフォを使って無事ネパールに入国できました。

高野山金剛峯寺から連絡

ネパールではお釈迦様が生まれになったルンビニ近くの古池と出家前のお釈迦様が二十九年間過ごされたと考えられているティラウラコット遺跡でボーリング調査をしました。ルンビニ近くの古池では残念ながら蓮の種は出土しませんでした。望みはティラウラコット遺跡北東にある池での発掘だけになりました。明日はティラウラコット遺跡の発掘だというときに、高野

第十五回訪タイ日記

タイ国日本人納骨堂並びにカンチャナブリ慰霊塔法要②

十二月九日（土）

タイ国日本人納骨堂での法要。訪タイの目的の一つである。朝食後、加門師と二人で一足早く、法要の準備がある

タイ国日本人納骨堂

追善法会 回向文

敬つて真言教主大日如来 両部
界会諸尊聖衆 殊には大恩教主釈
迦牟尼如来 総じては盡空法界一
切三宝の境界に白して言さく
夫れタイ国日本人納骨堂はワッ
ト・リヤップ境内に昭和十年にタ
イ国日本人会並びに十方檀越のご
尽力により建立され タイ国にて
物故せられた邦人諸精霊並びに英
霊を奉祀される聖堂なり

ここに コロナ禍も明けつつある今日 第十五回訪タイ団が結団され 鎮まれる諸精霊の追福菩提と在留邦人諸氏の安寧に資せんとす 併せて弘法大師のみ教を体して日泰親善をはかり 恭しく若干の浄侶を屈して三密瑜伽の道場を調え 般若理趣の妙典を誦誦して大衆金剛の三昧を現成し 志すところの納骨堂諸精霊 更には十方有縁無縁一切の精霊に供養の誠を捧げんものなり

仰ぎ願わくば この法会の功德を以て各々精霊ますます無上の仏果を増進し 併せてタイ国日本人会の前途弥々輝きを増し 在留邦人すべての家内安全 家門繁栄 福地円満 更には世界平和 万民豊楽ならしめんことを

爾来 初代留学僧 横浜 増徳
院 藤井真水師 戦後初の留学僧
神戸 転法輪寺 長原敬峰留学僧
の会長はじめ連綿として今日に

維時 令和五年十二月九日
高野山真言宗事務総長
総本山金剛峯寺執行長
今川 泰伸 敬白

午前九時三十分過ぎ、今川
宗務総長をはじめ、各部長、
次長さんたち、長原会長以下
団員、日本人会並びに懇和会
の各会員、そして在タイ日本
国大使館より領事部長新保剛
参事官、広報文化部長川村真
紀参事官が来院下された。五
十数名の方々の来院をみたが
初めて来院下された方、久し
ぶりにお会いする方、それぞ
れに御挨拶申し上げている内
に法要の開始時間が来てしま
った。

タイ国日本人納骨堂での法要。訪タイの目的の一つである。朝食後、加門師と二人で一足早く、法要の準備がある

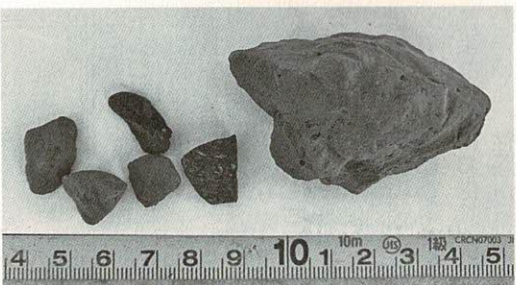
タイ国日本人納骨堂での法要。訪タイの目的の一つである。朝食後、加門師と二人で一足早く、法要の準備がある

タイ国日本人納骨堂での法要。訪タイの目的の一つである。朝食後、加門師と二人で一足早く、法要の準備がある

山金剛峯寺からメールがありました。弟子のことでの問い合せでした。はじめは電話をかけていただいたのですが、たまたま私はネパールにおり全く電話に出ないので、メールで連絡をいただきました。連絡を頂いたものの結局は私では分らず、弟子にメールを送りました。いつも思うのですが、本山への連絡は支所経由や師僧経由になつており、なぜ直接本人に問い合せないのか疑問で仕方ありません。早く直接やり取りを行うシステムに変更してもらいたいです。担当者はシステム上に連絡せざるを得ず、大変ご苦労をおかけしました。話が横道にそれましたが、ティラウラコット遺跡北東の池では現在も美しい白色の蓮が咲いています。村の古老に話を聞くと少なくとも六十年以上前から蓮が生えているとのことでした。

最後の望み

最後の望みをかけてボーリング調査を開始したところ、地表面から七十五cmのところ、で、ガリガリガリと嫌な音がしました。引き上げてみると、なんとレンガ片が出てきました。



中央の黒い物体が土器片 それ以外レンガ片

さらに掘り進めると土器片も出てきました。本来なら蓮の種の発掘なのですが、急遽予定を変更して、考古学的な遺跡の発掘になりました。最終的に三百三cmまで掘り進め得られた土を篩いにかけて蓮の種だけでなく、レンガ片等も探すことになりました。夜暗くなるまで、土壌中の出土物の探索を行いました。予定外のレンガ片等が出土しましたが、悔しいことに蓮の種は見つけることはできませんでした。次回最終回、今後の活動についてです。お楽しみに。

(奈良県五條市)